

本資料のうち、枠囲みの内容は、機密事項に属しますので公開できません。

柏崎刈羽原子力発電所第7号機 工事計画審査資料	
資料番号	KK7添-3-005-30 改0
提出年月日	2020年4月30日

V-3-3-3-3-2-2 管の応力計算書

K7 ① V-3-3-3-3-2-2 R0

2020年4月
東京電力ホールディングス株式会社

V-3-3-3-3-3-2-2 管の応力計算書

まえがき

本計算書は、V-3-1-5「重大事故等クラス2機器及び重大事故等クラス2支持構造物の強度計算の基本方針」及びV-3-2-9「重大事故等クラス2管の強度計算方法」に基づいて計算を行う。

評価条件整理結果を以下に示す。なお、評価条件の整理に当たって使用する記号及び略語については、V-3-2-1「強度計算方法の概要」に定義したものを使用する。

目 次

1.	概要	1
2.	概略系統図及び鳥瞰図	2
2.1	概略系統図	2
2.2	鳥瞰図	9
3.	計算条件	12
3.1	計算条件	12
3.2	材料及び許容応力	18
4.	計算結果	19
5.	代表モデルの選定結果及び全モデルの評価結果	20

1. 概要

本計算書は、V-3-1-5「重大事故等クラス2機器及び重大事故等クラス2支持構造物の強度計算の基本方針」及びV-3-2-9「重大事故等クラス2管の強度計算方法」に基づき、管の応力計算を実施した結果を示したものである。

評価結果記載方法は、以下に示すとおりである。






(1) 管

工事計画記載範囲の管のうち、設計条件あるいは管クラスに変更がある管における最大応力評価点の評価結果を解析モデル単位に記載する。また、全4モデルのうち、最大応力評価点の許容値／発生値（裕度）が最小となる解析モデルを代表として鳥瞰図、計算条件及び評価結果を記載する。代表モデルの選定及び全モデルの評価結果を5.に記載する。

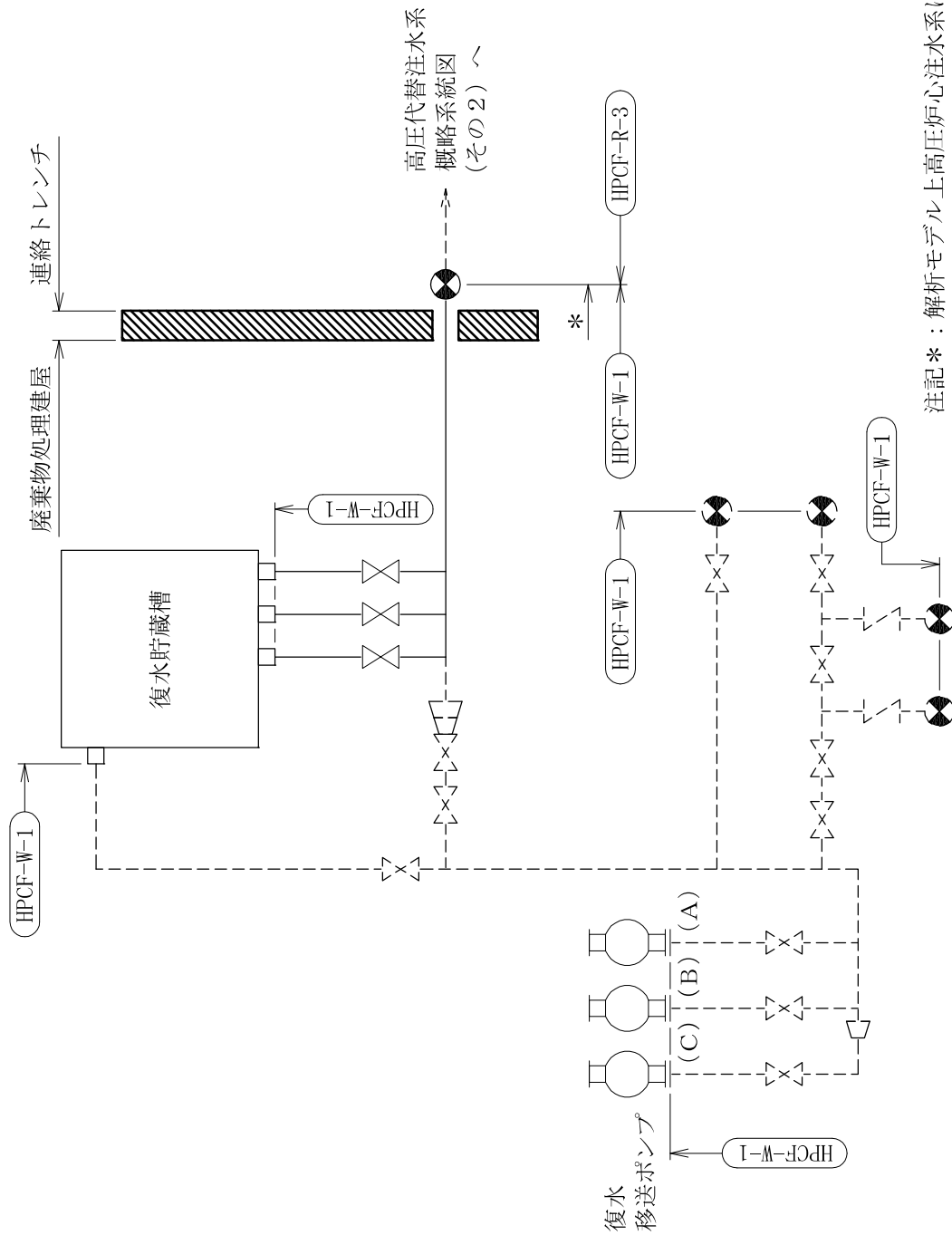
2. 概略系統図及び鳥瞰図

2.1 概略系統図

概略系統図記号凡例

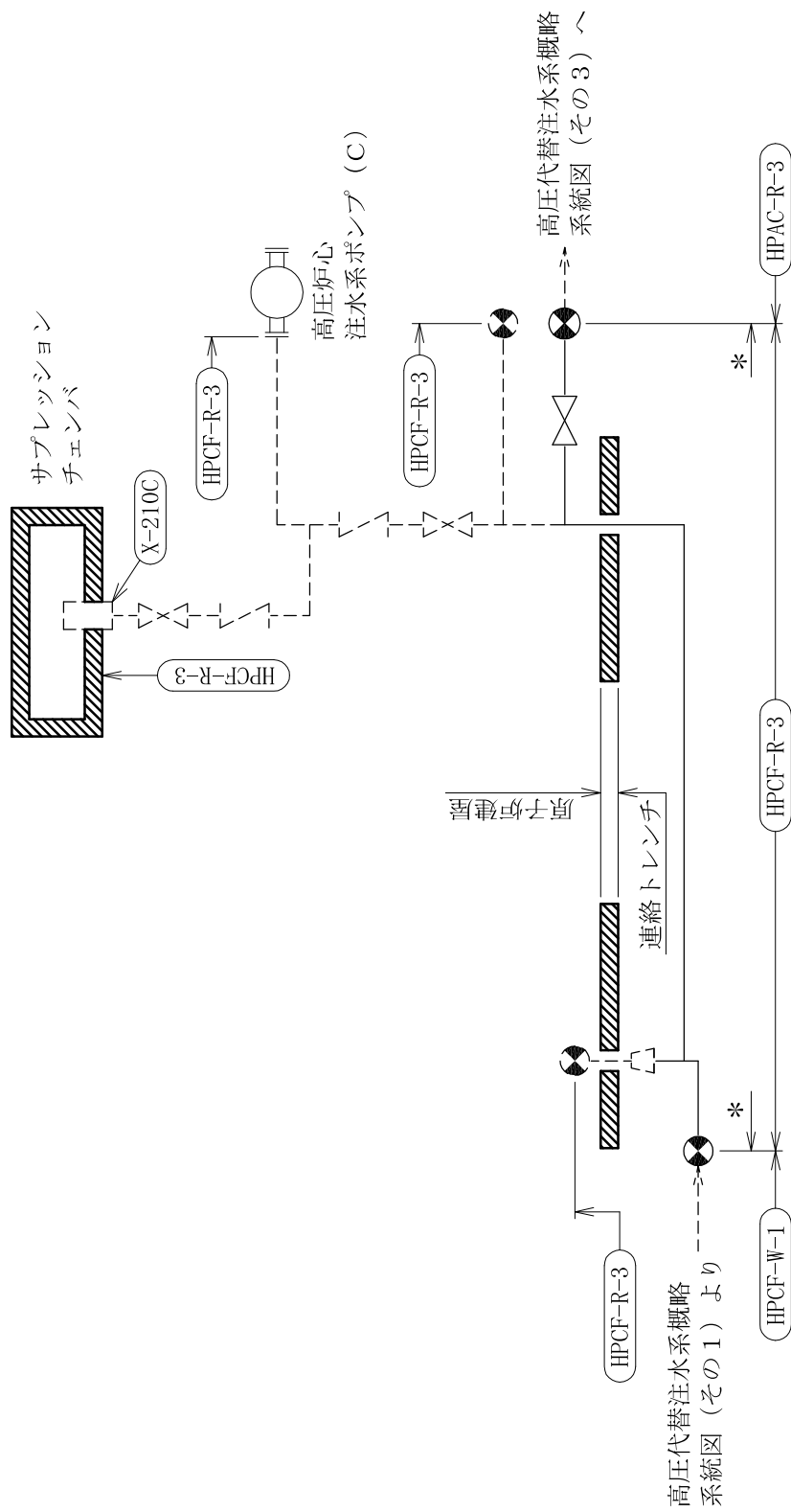
記号	内容
 (太線)	工事計画記載範囲の管のうち、本計算書記載範囲の管
 (細線)	工事計画記載範囲の管のうち、本系統の管であって他計算書記載範囲の管
 (破線)	工事計画記載範囲外の管又は工事計画記載範囲の管のうち、他系統の管であって系統の概略を示すために表記する管
	鳥瞰図番号
	アンカ

K7 ① V-3-3-3-3-2-2 R0



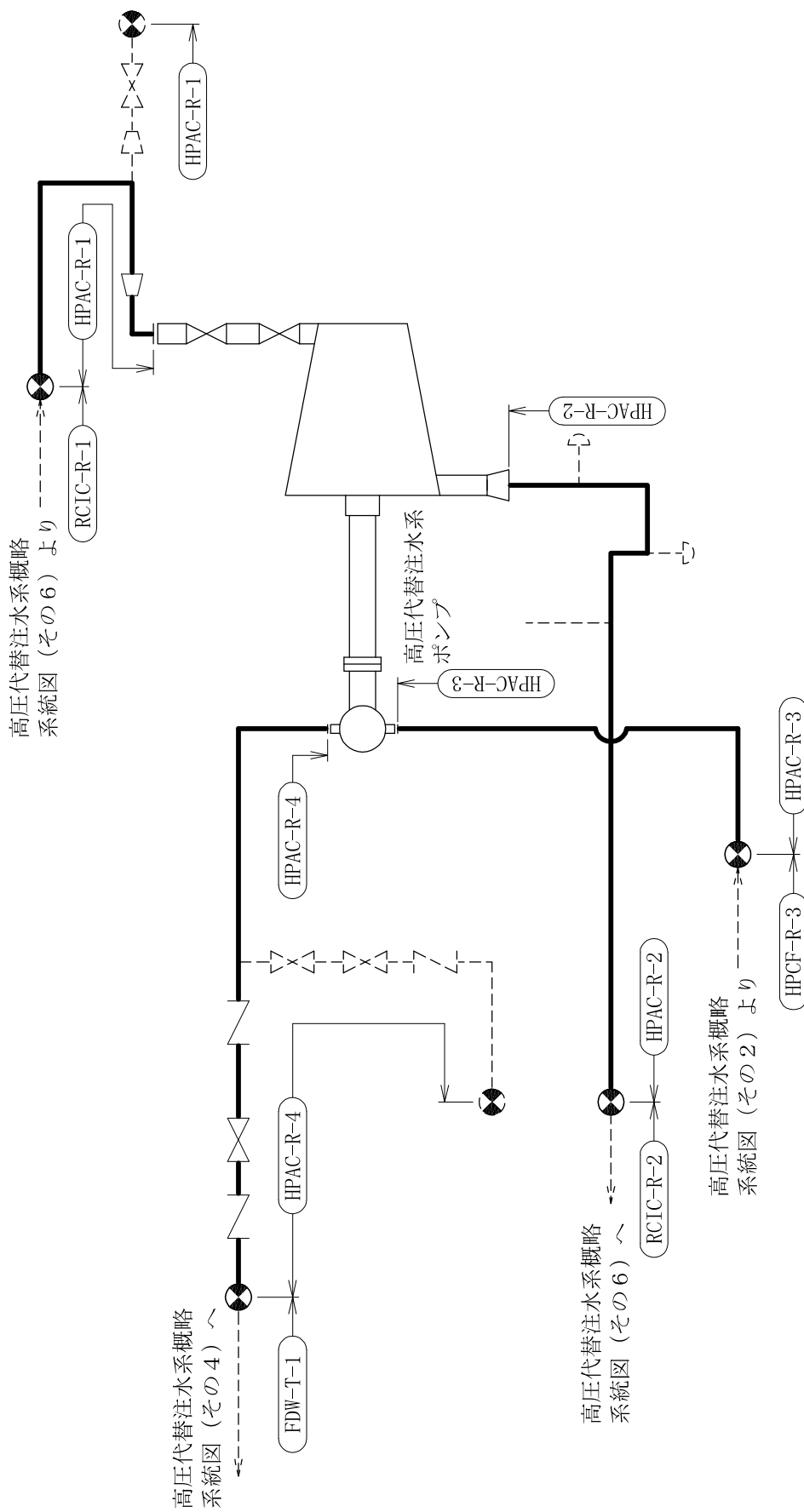
注記*: 解析モデル上高圧炉心注水系に含める。

高圧代替注水系概略系統図 (その1)

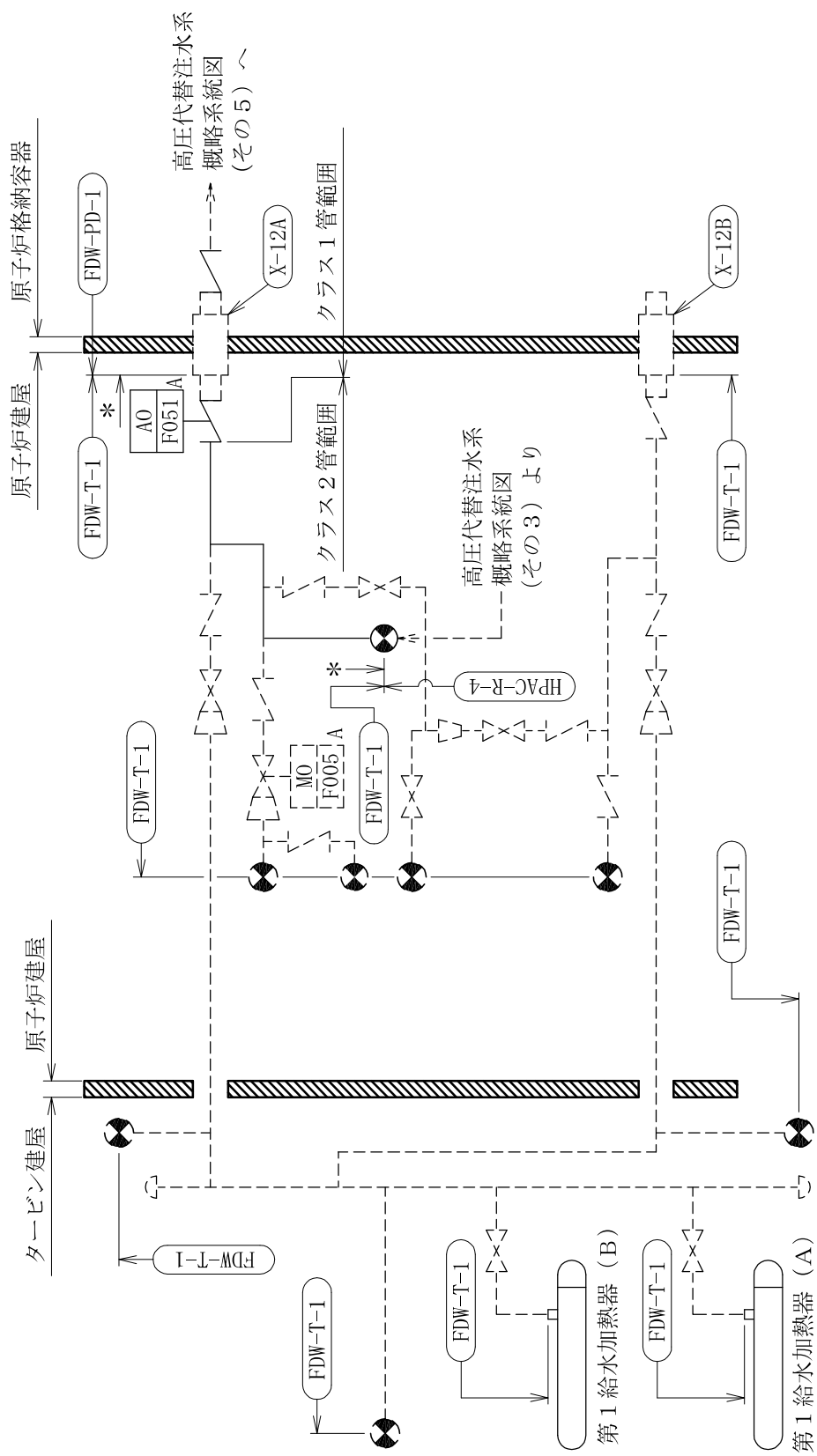


注記*：解析モデル上高圧炉心注水系に含める。

高圧代替注水系概略系統図 (その2)

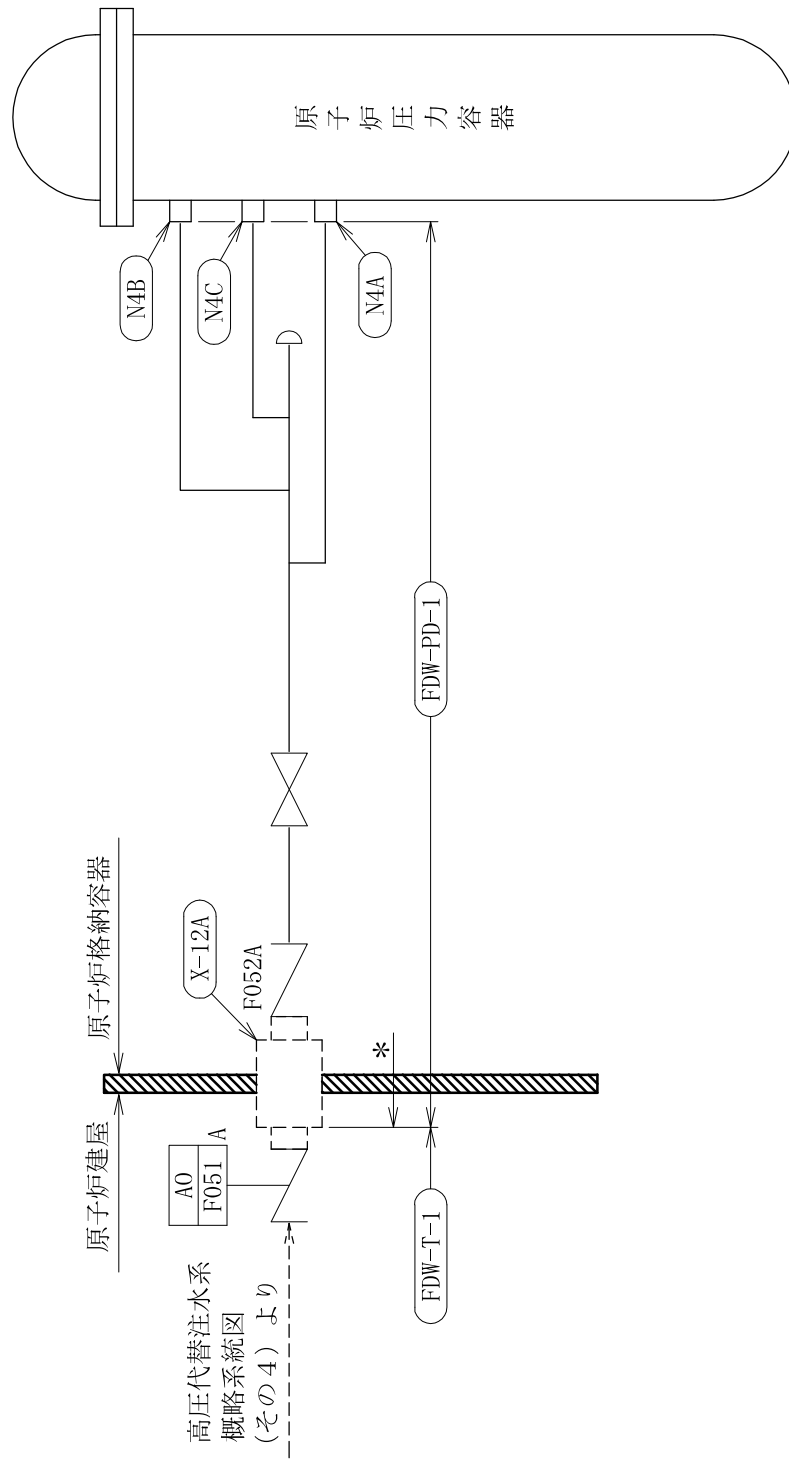


高圧代替注水系概略系統図 (その3)



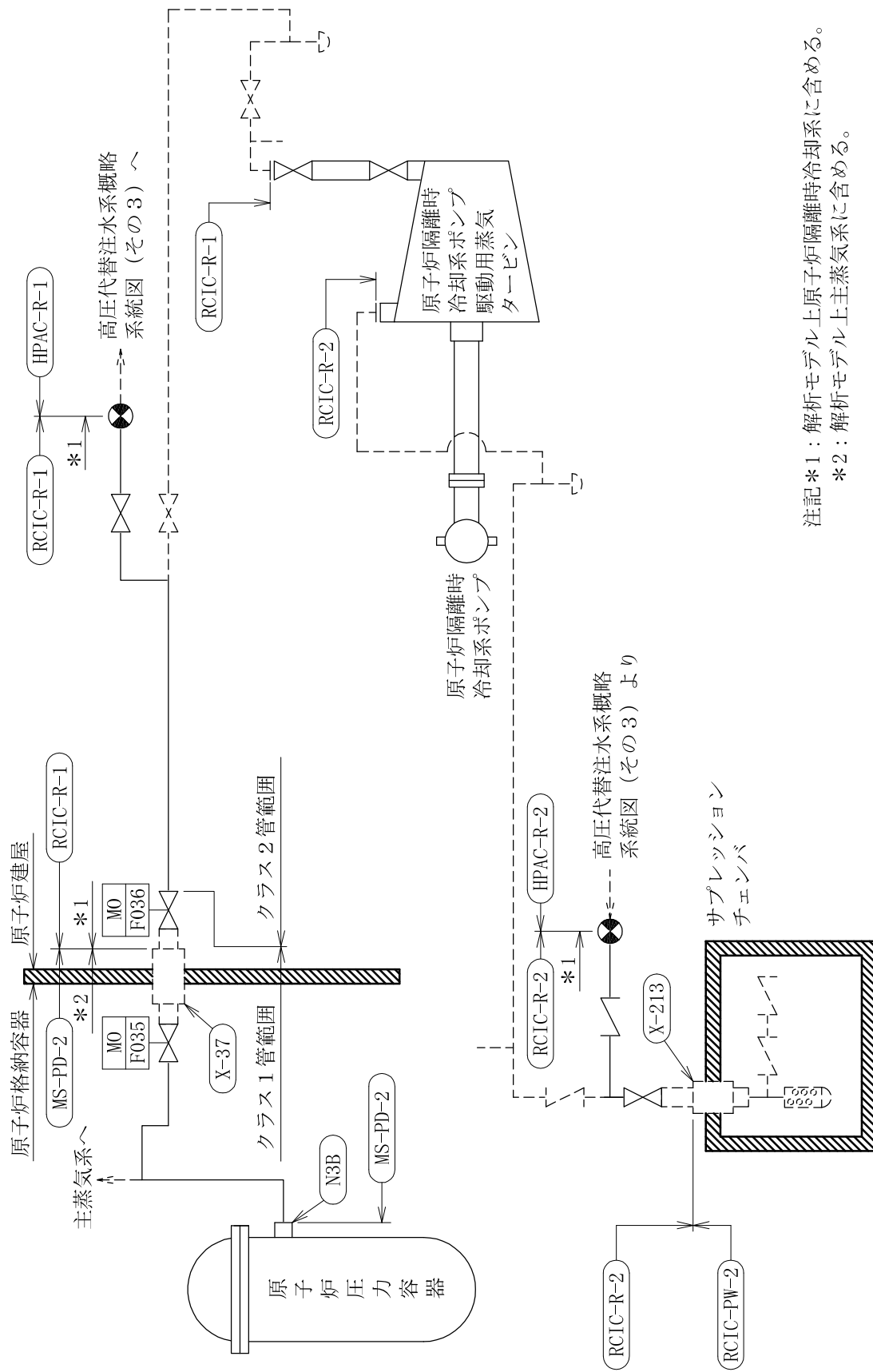
注記*：解析モデル上復水給水系に含める。

高圧代替注水系概略系統図（その4）



注記*：解析モデル上復水給水系に含める。

高圧代替注水系概略系統図（その5）








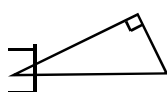
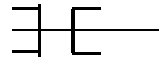

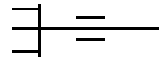
注記*1：解析モデル上原子炉隔離時冷却系に含める。

*2：解析モデル上主蒸気系に含める。

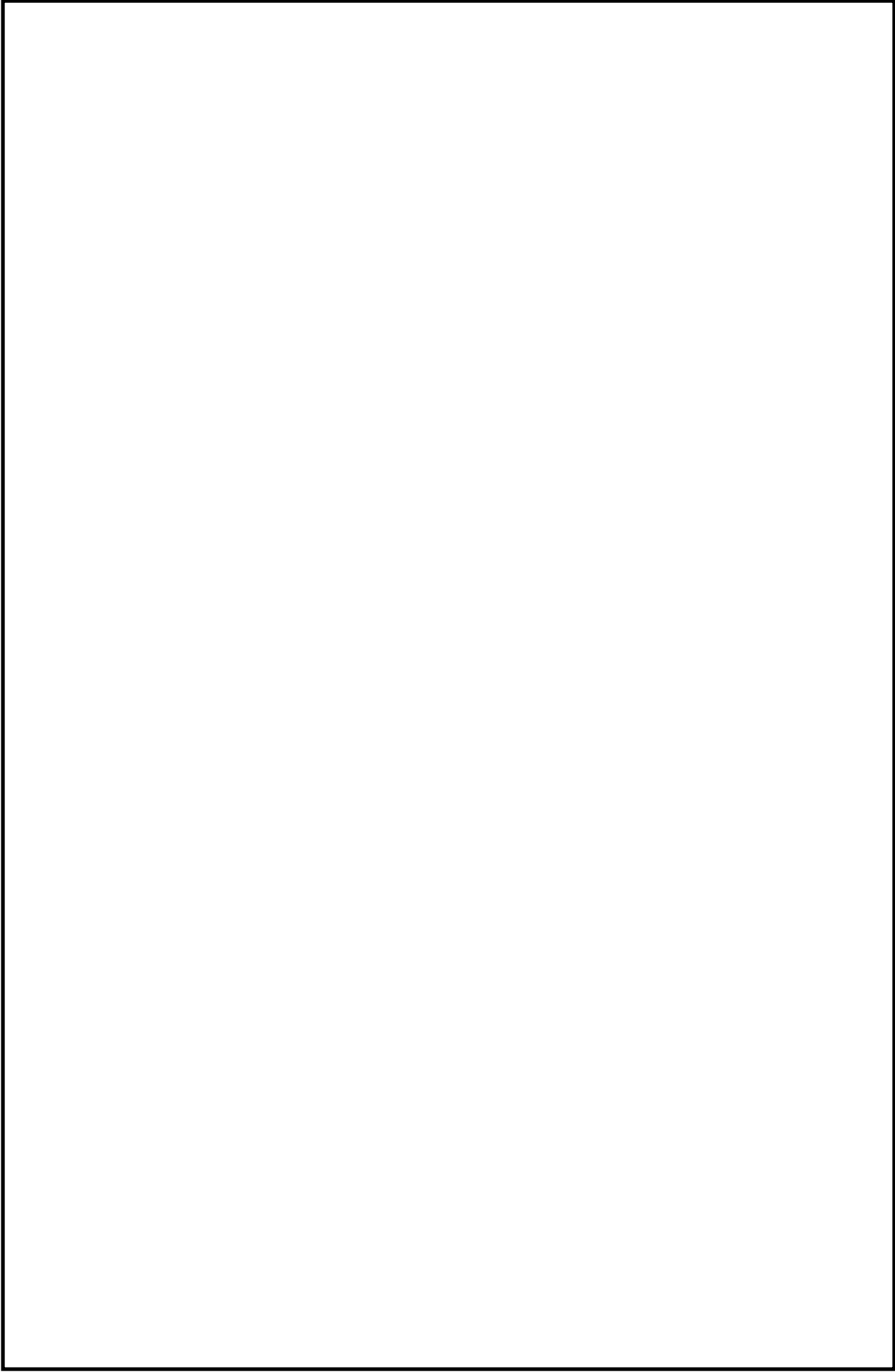
高圧代替注水系概略系統図 (その6)

2.2 鳥瞰図

鳥瞰図記号凡例

記号	内容
 (太線)	工事計画記載範囲の管のうち、本計算書記載範囲の管
 (細線)	工事計画記載範囲の管のうち、本系統の管であって他計算書記載範囲の管
 (破線)	工事計画記載範囲外の管又は工事計画記載範囲の管のうち、他系統の管であって解析モデルの概略を示すために表記する管
	質点
	アンカ
	レストレイント (本図は斜め拘束の場合の全体座標系における拘束方向成分を示す。スナッパについても同様とする。)
	スナッパ
	ハンガ
	リジットハンガ
注1：鳥瞰図中の寸法の単位はmmである。	

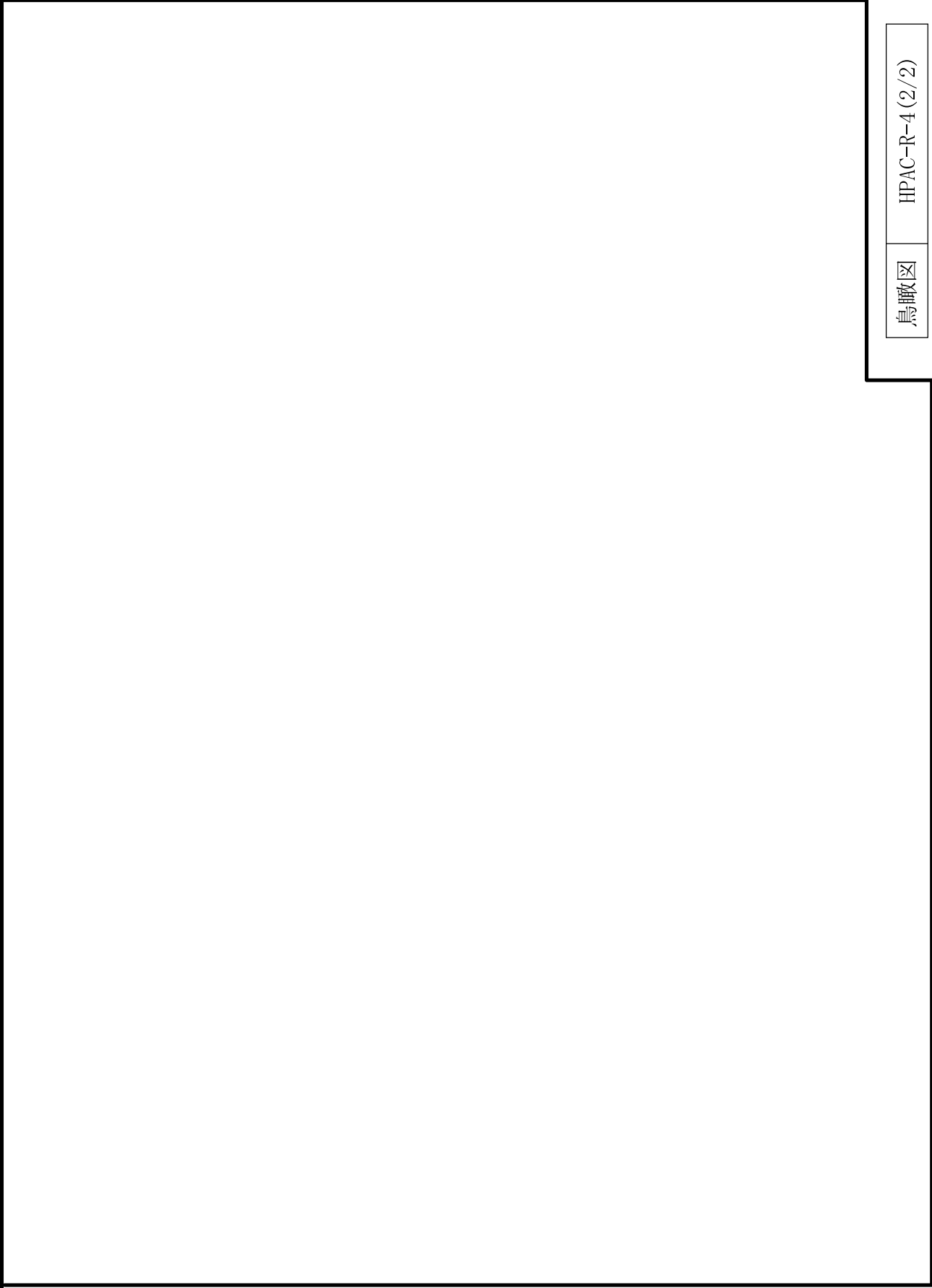
K7 ① V-3-3-3-3-2-2 R0



鳥瞰図

HPAC-R-4 (1/2)

K7 ① V-3-3-3-3-2-2 R0



鳥瞰図

HPAC-R-4 (2/2)

3. 計算条件

3.1 計算条件

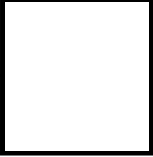
鳥瞰図番号ごとに設計条件に対応した管番号で区分し、管番号と対応する評価点番号を示す。

鳥瞰図 IPAC-R-4

管番号	対応する評価点	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
1	1N~33, 34~52S	11.80	77	165.2	18.2	STPT410
2	52S~54	11.80	77	165.2	18.2	STPT410
3	55~72	8.62	302	165.2	14.3	STPT410
4	72~78	8.62	302	165.2	14.3	STPT410
5	79~89A	8.62	302	165.2	14.3	STPT410

配管の付加質量

鳥瞰図 HPAC-R-4

質量	対応する評価点
	55～55K, 56K～59K, 61K～62K, 63K～67S, 70K～71K 73K～74K, 77K～78, 79～801K, 82K～83K, 85K～88K
	55K～56K, 59K～61K, 62K～63K, 67S～70K, 71K～73K 74K～77K, 801K～82K, 83K～85K, 88K～89A

K7 ① V-3-3-3-3-2-2 R0

フランジ部の質量

鳥瞰図 HPAC-R-4

質量	対応する評価点
□	1N
□	6, 22

K7 ① V-3-3-3-3-3-2-2 R0

弁部の寸法

鳥瞰図 HPAC-R-4

評価点	外径 (mm)	厚さ (mm)	長さ (mm)	評価点	外径 (mm)	厚さ (mm)	長さ (mm)
33~34				54~5401			
5401~5402				5402~5403			
5401~55				78~79			

弁部の質量

鳥瞰図 HPAC-R-4

質量	対応する評価点	質量	対応する評価点
	33~34, 78~79		54, 55
	5401		5402
	5403		

支持点及び貫通部ばね定数

鳥瞰図 HPAC-R-4

支持点番号	各軸方向ばね定数 (N/mm)			各軸回り回転ばね定数 (N・mm/rad)		
	X	Y	Z	X	Y	Z
1N						
3001						
3002						
7						
7						
14						
15						
21						
27						
38						
47						
53						
61						
72						
81						
89A						

K7 ① V-3-3-3-3-2-2 R0

3.2 材料及び許容応力

使用する材料の最高使用温度での許容応力を下表に示す。

設計・建設規格に規定の応力計算に用いる許容応力

材料	最高使用温度 (°C)	許容応力 (MPa)			
		S_m	S_y	S_u	S_h
STPT410	77	—	—	—	103
STPT410	302	—	—	—	103

4. 計算結果

下表に示すとおり最大応力はすべて許容応力以下である。

重大事故等クラス2管であってクラス2以下の管

設計・建設規格 PPC-3520の規定に基づく評価

鳥瞰図	最大応力 評価点	最大応力 区分	一次応力評価 (MPa)	
			計算応力 $S_{pr m}^{*1}$ $S_{pr m}^{*2}$	許容応力 $1.5 \cdot S_h$ $1.8 \cdot S_h$
HPAC-R-4	44	$S_{pr m}^{*1}$	70	154
HPAC-R-4	44	$S_{pr m}^{*2}$	75	185

注記*1：設計・建設規格 PPC-3520(1)に基づき計算した一次応力を示す。

*2：設計・建設規格 PPC-3520(2)に基づき計算した一次応力を示す。

5. 代表モデルの選定結果及び全モデルの評価結果
 代表モデルは各モデルの最大応力点の応力と裕度を算出し、応力分類毎に裕度最小のモデルを選定して鳥瞰図、計算条件及び評価結果を記載している。下表に、代表モデルの選定結果及び全モデルの評価結果を示す。

代表モデルの選定結果及び全モデルの評価結果（重大事故等クラス2管であってクラス2以下の管）

No.	配管モデル	重大事故等時 ^{*1}					重大事故等時 ^{*2}				
		一次応力					一次応力				
		評価点	計算応力 (MPa)	許容応力 (MPa)	裕度	代表	評価点	計算応力 (MPa)	許容応力 (MPa)	裕度	代表
1	HPAC-R-1	5	52	154	2.96	—	5	57	185	3.24	—
2	HPAC-R-2	17	21	154	7.33	—	17	22	185	8.40	—
3	HPAC-R-3	2100	24	154	6.41	—	2100	25	185	7.40	—
4	HPAC-R-4	44	70	154	2.20	○	44	75	185	2.46	○

注記*1：設計・建設規格 PPC-3520(1)に基づき計算した一次応力を示す。

*2：設計・建設規格 PPC-3520(2)に基づき計算した一次応力を示す。